

当番世話人挨拶

テーマ

「AI 技術の進化がもたらす CT 技術のイノベーション」

第 12 回九州 CT 研究会当番世話人
大石 芳貴（産業医科大学病院）

—ご挨拶—

第 12 回九州 CT 研究会は AI : Artificial Intelligence（人工知能）を題材に「AI 技術の進化がもたらす CT 技術のイノベーション」というテーマで開催いたします。AI は昨今のコンピュータ技術の進歩で瞬く間に様々な分野で用いられるようになり随分身近な単語になりました。Deep Learning を用いた再構成をはじめ CT 技術にも浸透しつつあります。もしかすると近い将来、患者に寝台に寝てもらってボタンを押すだけで、撮影→画像処理→画像診断→画像配信と自動で検査を行うようになるかもしれません。だとするならば今私たちが理解しておくべきことは何なのでしょう？

今後深く付き合っていくべき AI への理解を深めるため、特別講演には桂川茂彦先生（前帝京大学・熊本大学教授）をお招きし「AI の歴史と進化論」をご講話いただきます。基礎講演では CT 領域における AI の研究や取り組みについて、西嶋康二郎（大分県立病院）氏に「僕たちはどう生きるか ～CT における Deep Learning 研究の現状とこれから～」と題してご講演いただきます。シンポジウムでは、各社 AI 技術について既に導入実践されている施設から現状を報告していただいた上で、今回のテーマでもある「AI 技術がもたらす CT 技術のイノベーション」について皆様と深く議論したいと思います。よりよい画像を得るために AI に何をさせたらよいか、AI に使われるのではなく、AI を使う側の立場として皆様と理解を深められれば幸いです。

九州 CT 研究会は最新情報の発信だけではなく、機器展示や企業の方を含めた参加者間の熱い情報交換が特徴の一つです。そのため対面形式の開催が必然となります。皆様にはどうか対面形式の開催についてご理解いただき、感染症対策にご協力をお願い致します。